

※1月23日 下関商工会議所主催の新サービス発表会（5分間）の原稿です。

平成25年1月23日

「やはり知って欲しい 住宅の基本」

皆さんは、住宅を建てておられますが、「住宅とは何でしょうか」

（考えてみて下さい。）

「住宅とは、建物であると同時に、住まう人に影響を与え続ける一番身近な環境を合わせもつもの」と考えます。（富田辰雄氏の言葉です）

この考えをもとにした住宅は、「常に新鮮空気のある住まい。すなわち省エネで、安心して住める空気質の住宅」でなければなりません。

この新鮮空気には、78%の窒素、21%の酸素、1%のアルゴン、0.03%の二酸化炭素 他で構成されています。

しかし、この酸素量が21%から18%になると頭が痛くなり、15%以下になると死に至るのです。

聞かれたことがあると思いますが、新築住宅に住み始めて、朝 体がだるいとか、朝 疲れが残っている、寝苦しいなどという時、この酸素量が低下していることが多いのです。

寝ている時、自分が吐き出した二酸化炭素が重いので、酸素を押し上げ、酸素の少ない空気を吸うから、体が酸素で浄化されないためです。

この位の空気質で小鳥は死にます。花も枯れます。このことをシックハウス症候群、新築病と言いました。

この時、厚生省が初めて建設省に噛み付いたのです。原因は、室内空気質の悪化が日本人を病気にさせたからです。

そのための対策として、換気設備の義務化が施行されましたが、これは室内空気質が悪いから、入れ替えるという法律です。

しかしこの法律は、熱が出たから氷で冷やすという対症療法で、国民の健康を守るという抜本的対策ではありません……。

では、どんな家を建てれば健康に過せるのでしょうか？

それではここで、シックハウスから脱却できる、抜本的対策の工法をお話ししましょう。それは、国土交通省がしぶしぶ、しかも想定外として認めた工法です。

それを、通気断熱WB工法の家「コキハウス」と覚えておいて下さい。

違いを1つだけお話しすれば、現在の住宅で、夏 買い物から帰って玄関を開けると、ムワツとした空気を感じると思います。

しかしコキハウスは、サラサラ空気が迎えてくれますし、安心して住める空気質で、なお省エネなのです。このあと資料を差し上げますので、なぜかをお確かめ下さい。

更に、住宅について申し上げれば、設計士や工務店が住むものではありません。

「あなたが住むのです」ということを、はっきりと認識し、自覚して下さい。

そして、ご自分を守るために住宅を研究して頂きたいのです。

友人、知人の方にもお伝え下されば幸いに存じます。

もう少し言わせて頂ければ、

材木店でもある福利産業(株)の

社是は「住まいは人を育てる環境」

理念は「日本人と共にある木材と通して、室内環境の安心安全快適に善意を尽くし、健全なる家系の継続に寄与する」としています。

ですから、今後とも「住まう人が幸せに過ごせる住宅を建てるために」住環境を住み手と共に追求してまいります。

以上、福利産業(株)の松倉 守がお話ししました。

有難うございました。